

平成 27 年度 CALL-A/B 再履修 受講説明書

2015 年 9 月 30 日

目次

1	再履修にあたって	1
1.1	CALL が受講生に求める学習内容	1
1.2	「九大英単」の学習範囲	1
1.3	評価と成績	2
2	学習スケジュールおよび学習範囲	3
2.1	CALL-A	3
2.2	CALL-B	3
3	WebOCMNext	3
3.1	パソコンの使用環境	3
3.2	使用教材	4
4	履修登録方法	4
5	ウェブ教材の進め方	4
5.1	学習システムへの登録	4
5.2	ログイン・ログアウト	4
5.3	学習方法	5
6	事務連絡等	6
6.1	更新情報等	6
6.2	トラブルなどの報告	7

1 再履修にあたって

学内の CALL 科目は、前年度の「ぎゅっと e」から「WebOCMNext」へと移行し、九州大学で独自に作成した問題を解くこととなります。この問題は、他の英語科目や「九大英単」の内容、および学生の英語力を踏まえて作成したものです。したがって、回答する問題の形式や内容は、前年度のものとは大きく変わります。

1.1 CALL が受講生に求める学習内容

CALL では、受講生の皆さんに学習システム WebOCMNext と「九大英単」の内容の 2 種類について学習をおこなってまいります。WebOCMNext には、「九大英単」の内容はありませんが、「定期試験には、学習システム内の教材の内容と、『九大英単』の内容の 2 つが出題されることとなります。」

1.2 「九大英単」の学習範囲

再履修者が学習すべき「九大英単語」の範囲は以下のとおりとなります。

表 1: クラスごとの「九大英単」学習範囲

履修クラス	第 1 部	第 2 部	第 3 部
CALL-A	動詞	1~4	1~2
CALL-B	形容詞、名詞	5~10	3~7

1.3 評価と成績

評点の内訳は、下の表のとおりとなります。

表 2: 再履修評点内訳

定期試験	学習履歴	長期休暇学習相当分
50	40	10
ウェブ教材 35	-	-
「九大英単」 15	-	-

「長期休暇学習相当分」とは、受講生の学期終了後の習慣的な学習を見込んで、全員に付与される点数です。

1.3.1 学習履歴の評価

学習システム上では、受講生のアクセスと問題回答の状況が逐一記録されるようになっていきます。この記録にもとづいて、学習履歴の評価をおこないます。

学習履歴による評価は、以下の条件下で最大化されるように調整されます。

評価最大化の条件

- 週ごとの学習日数および学習時間にかたよりが無い（習慣的な学習）
- 指定された学習範囲を、学習締切日までに終えている（計画的な学習）
- 各問題の正答率が一定の高さを保っている（十分な語学的知識）
- 一定量の復習をおこなっている（反復学習）

なお、以下のような状況の場合には、十分な評価が得られなかったり、「不正常学習」として減点される場合があります。

低い評価・減点の例

- 他受講生およびこれまでの本人の学習状況と比較して、不自然な履歴が記録される（不正常学習）
- 問題への回答が、締切日直前に異様に多い（駆け込み学習）

また、学習締切日までに学習範囲が終了しなかった場合は、大幅な減点がおこなわれます。ネットワークの遅延等による回答の未完了も、救済措置の対象とはなりませんので、問題への回答は、十分に余裕をもっておこなってください。

1.3.2 不正行為について

以下の行為は、科目運営に大きな損害をもたらすものとして、厳しく処断します。

不正行為の例

- 問題や解答のテキスト・画像を、紙をはじめとしたメディアに記録し、配布すること
- 他人からメディアを通じて問題や解答を入手すること

2 学習スケジュールおよび学習範囲

学習スケジュールは、以下の表のとおりとなります。

2.1 CALL-A

日にち	学習範囲
10月1日(木)	学習開始
11月11日(水)	Reading 1, Listening 1, Grammar 1
12月23日(水)	Reading 2, Listening 2, Grammar 2
2月3日(水)	Reading 3, Listening 3, Grammar 3
2月4日～10日	期末試験

2.2 CALL-B

日にち	学習範囲
10月1日(木)	学習開始
11月11日(水)	Reading 5, Listening 5, Grammar 5
12月23日(水)	Reading 6, Listening 6, Grammar 6
2月3日(水)	Reading 7, Listening 7, Grammar 7
2月7日～10日	期末試験

3 WebOCMNext

3.1 パソコンの使用環境

WebOCMNext が保証するパソコンの使用環境は、以下のとおりです。

3.1.1 Windows

- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows 8
- Microsoft Windows 8.1

3.1.2 Macintosh

- Mac OS X 10.6～10.9^{*1}

^{*1} Mac OS X 10.10 でも一定の範囲で安定した動作は確認されていますが、動作や学習履歴に不具合が生じる可能性があります。くれぐれも、自分の学習履歴や問題の消化状況が正しく反映されていることを確認し、学習状況が正しく反映されない場合は、**Windows** をインストールする等の対応をおこなってください。

3.1.3 ブラウザの使用環境

- Windows OS :
 - Internet Explorer 8.0
 - Internet Explorer 9.0
 - Internet Explorer 10.0
 - Internet Explorer 11.0
 - Google Chrome
- Mac OS X:
 - Google Chrome

3.2 使用教材

先ほども述べたように、WebOCMNext に掲載されている教材は、前年度の「ぎゅっと e」とは異なります。教材は、読解、聴解、文法の 3 種類があり、それぞれの教材は、各学習期間にあわせて 3~4 のセクションに分かれています。履修をする皆さんには、各学習期間に定められたセクションの学習に取り組んでもらいます。

4 履修登録方法

ウェブ履修登録画面から、「学術英語 CALL-A」(または、「学術英語 CALL-B」) を選択してください。

5 ウェブ教材の進め方

5.1 学習システムへの登録

1. **ポータルページ**にアクセスし、「お知らせ」を確認する
2. 「教材へ」のリンクをクリックし、学習システムにアクセスする
3. 通知された ID とパスワードを入力して「ログイン」ボタンを押す
4. 画面右上「ユーザー情報の変更」で、以下の 3 点を変更する
 - 姓名
 - ユーザー名
 - パスワード
5. 画面左のフレーム「クラス登録」で、正しいクラスが選択されていることを確認する。
6. 画面左のフレーム「クラス選択」で「後期 A 再履修」(または「後期 B 再履修」) クラスをクリックする

5.2 ログイン・ログアウト

ログインは、かならず以下のページからアクセスしてください。

- <http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/tsuchiya/call/2015/09/17/CALL-portal-page-rereg.html>

ログアウトをおこなう際には、画面右上の「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

5.3 学習方法

ここでは、操作について簡単に説明します。操作に問題が生じた場合には、CALL 担当教員 (call-instructor@fkc.kyushu-u.ac.jp) までご連絡ください。

1. 右のフレームで正しいクラスを選択し、左のフレームに表示される「教材一覧」をクリックする (図 1)
2. 表示されるリスト上部「教材名」をクリックすると、教材が昇り順に並べ替えられる (図 2)
3. 学習したい教材名をクリックすると、左のフレームに問題が表示されるので、各問題をクリックして、学習をおこなう。
 - 学習が終了した問題には、緑四角の印がつく
 - アクセスしたが、回答していない問題には、赤四角の印がつく
4. 自分の学習状況を確認したい場合は、左のフレームの「教材集計」をクリックする (図 3)
 - 教材アクセス状況: 教材へのアクセス履歴
 - 学習進捗状況: アクセスした問題とその終了状況
 - 練習問題受験状況: 問題の回答状況と正答率など
 - 学習終了状況: 教材のセクションごとの終了状況

CIDX	CID	年	学期	曜日	時限	クラス名	コメ
52	52	2015	1	4	4	後期芸工画S1-30/31	
53	53	2015	1	4	5	後期芸音芸S1-32/33	
54	54	2015	1	4	6	後期農S1-34/35	
55	55	2015	1	5	1	後期農S1-36/37	
56	56	2015	1	5	2	後期再履修A	
57	57	2015	1	5	3	後期再履修B	

図 1 教材一覧 (赤印箇所) から各教材に移動できます

ID	+/-	教材名	Ver.	Act	Group	St	ジャンル	Date	SKey	Xfid	X
20022	+	Grammar1	0	✓		1	ホームページ>Grammar	09/03 23:30	0	23101	2
20310	+	Grammar4	0	✓		1	ホームページ>Grammar	09/03 23:31	0	23034	2
20119	+	Grammar2	0	✓		1	ホームページ>Grammar	09/03 23:30	0	22981	2
20210	+	Grammar3	0	✓		1	ホームページ>Grammar	09/03 23:31	0	22951	2
19981	+	Listening3	0	✓		1	ホームページ>Listening	09/03 23:27	0	22683	2
19998	+	Listening4	0	✓		1	ホームページ>Listening	09/03 23:28	0	22663	2
19965	+	Listening2	0	✓		1	ホームページ>Listening	09/03 23:27	0	22656	2
19948	+	Listening1	0	✓		1	ホームページ>Listening	09/03 23:27	0	22650	2
19923	+	Reading2	0	✓		1	ホームページ>Reading	09/03 23:24	0	22595	2
19915	+	Reading1	0	✓		1	ホームページ>Reading	09/03 23:23	0	22583	2

図 2 教材リスト

Sort	XfID	Group	[+/-]	教材名	Reading速度 (WPM)	所要時間 (秒)	理解度 (1~5)	学習時間 / 分 (ページ滞在時間)	初回得点	学習終了者
0	22595			Reading2	--	--	--	--	--	0 / 0
0	22583			Reading1	--	--	--	--	--	0 / 0
0	22582			Reading4	--	--	--	--	--	0 / 0
0	22580			Reading3	--	--	--	--	--	0 / 0

図3 教材集計ページ TOP

5. 学習を終了する場合は、画面下の「学習を終了する」ボタンをクリックする

5.3.1 ! 注意事項!

学習履歴を確実に残すために

学習システムは、決められたボタンをクリックしなければ回答が完了したと判定されません。問題に回答したら、かならず「次の課題へ進む」「学習を終了する」のいずれかをクリックしてください。

「学習時間/分」の項目について

教材集計 TOP の「学習時間/分」の項目は、「アクセスした時間の平均」であって、「アクセスした時間の合計時間」ではありません。総自習時間を確認したい場合は、左のフレームの「総合成績」をクリックしてください。

6 事務連絡等

6.1 更新情報等

6.1.1 CALL-A/B (再履修) ポータルページへのアクセス

[ポータルページ](#) にアクセスし、ページ下部にある「お知らせ」を確認してください。

6.1.2 学生基本メールへの連絡

学生基本メール宛に、CALL 科目教員より随時お知らせが届きます。定期試験の日程、学習締切の確認等の重要なお知らせが届くことがありますので、お知らせが届いた際には、かならず読んでおくようにしてください。

6.1.3 CALL 科目教員ページ

CALL 科目を担当している土屋 (call-instructor@fkc.kyushu-u.ac.jp) の個人ページに、CALL 関連の情報を掲載しています。トラブルシューティングや FAQ などの情報も随時掲載していきます。

6.1.4 CALL 担当教員 Twitter

CALL 担当教員の Twitter アカウント (@QU_CALL_inside) では、上の教員ページの更新情報も随時掲載しています。

6.2 トラブルなどの報告

「アクセスができない」「操作方法が分からない」「問題の解説をもう少し詳しく知りたい」などの個々の質問・意見には、CALL 科目担当教員の土屋 (call-instructor@fkc.kyushu-u.ac.jp) が対応します。メールを送る際には、以下の点に注意してください。

- **学生基本メールから送ること:** 受講生と直接対面しないので、個人の確認をとる必要があります。学生基本メールアドレスは、学生証と同じ認証性を持ちます。学生基本メールアドレス以外からのメールには原則回答しません。ご注意ください。
- **トラブルの報告の際には、細かな情報を:** トラブルの解消には、
 - (a) どのような動作環境で、
 - (b) どのような操作をおこなったときに、
 - (c) どのような症状が発生したか

を知る必要があります。トラブルが発生した際には、下のようなフォーマットを利用して報告をおこなってください。

トラブル報告テンプレート

1. OS の種類:
2. OS のバージョン:
3. 利用ブラウザの種類:
4. 利用ブラウザのバージョン:
5. アクセスしている URL:

- **学籍番号・氏名を明記すること:** メールでやりとりをおこなううえでの最低限のマナーです。焦っているときなどは忘れがちですが、くれぐれも気を付けましょう。